

FREE

ご自由にお持ちください。

No.843  
2023 December

12

岐阜県の森林・林業

# もり 森林のたより



News of the forest



## 清流の国ぎふ森林・環境税

～緑豊かな清流の国ぎふづくりを進めます～



奥山林等の間伐



観光景観林の整備



河川魚道の維持管理



鳥獣被害対策



生態系の保全・再生



公共施設の木造・木質化



木質バイオマスの有効利用



ぎふ木遊館の管理・運営



地域団体等が行う森・川づくり活動



緑と水の子ども会議の開催



地域循環共生圏構想の促進



県民フォーラムの開催

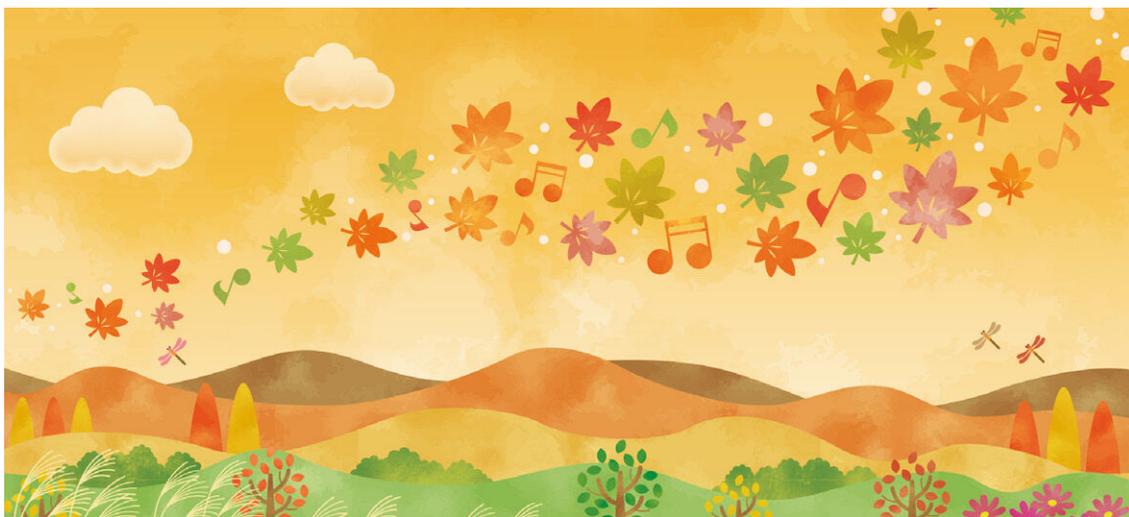


編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail [sanrinag@quartz.ocn.ne.jp](mailto:sanrinag@quartz.ocn.ne.jp)

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
12月16日(土)、 23日(土)	ぎふ木遊館木育プログラム (スプーンクラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内容：ナイフ等を使ってオリジナルの木のスプーンを作ります。 16日(土)ロングコース(10:00~17:00) 参加料5,000円</li> <li>23日(土)ショートコース(14:00~17:00) 参加料3,000円</li> <li>※材料費・保険代・道具一式レンタル代込</li> <li>●定員：各回10名</li> <li>●申込：開催日2日前の正午まで</li> </ul>	ぎふ木遊館(岐阜市学園町2-33)
			一般社団法人グリーンウッドワーク・ラボ TEL:090-7304-7044 <a href="https://gwwlab.peatix.com">https://gwwlab.peatix.com</a> (申込サイト)
令和6年 1月20日(土)	岐阜県みどりの少年団 活動発表大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みどりの少年団が日頃の活動について発表します。またモリノスでの交流行事も計画しています。</li> <li>●時間：10:00~15:00(予定)</li> <li>●参加の申し込みを受け付けています。</li> </ul>	岐阜県立森林文化アカデミー 森の情報センター、モリノス (美濃市曾代) 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL:058-273-7577 FAX:058-273-7547



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) ..... 2

令和5年度林政部優良工事施工者表彰式を開催  
〜林政部長表彰〜 ..... 3

全国緑の少年団活動発表大会 ..... 3

「岐阜の森の文化・木の文化」フォーラムを開催しました  
シリーズ...ぎふの木、使います! ..... 4

森林環境譲与税のお悩み相談は、  
地域森林管理支援センターへ! ..... 5

令和4年度森林環境譲与税を活用した県による市町村の支援について  
森林の土地を取得したときは市町村への届出が必要です! ..... 6

山の歳時記 220 ヒラタケ ..... 7

山のおじやまむし(389) ..... 7

―林友会、年賀状と喪中はがき― ..... 8

シリーズ「森林・環境税」で「緑豊かな清流の国ぎふづくり」(7)  
森林と人を活かす知恵(13) タネを見分ける―新木を探そう― ..... 9

ぎふ木遊館通信 ..... 10

morinos 出前体験!! ..... 11

木の香るぎふの施設(129) とぎ温泉 K A M A B A ..... 12

研究コーナー スギ心去り平角材の強度を考える(2) ..... 13

普及コーナー 主伐・再造林の取組み事例 ..... 14

スマート林業通信(38) ..... 15

国有林の現場から(86) ..... 16

伝統技法の継承に向けて(三ッ緒伐り研修会を開催)  
林業者向けお知らせ ..... 17

市況 ..... 18



表紙「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、令和4年度に実施した主な取組み事例

# 令和5年度林政部優良工事施工者表彰式を開催 ～ 林政部長表彰 ～

県では、発注した公共工事において、他の施工者の模範となる優良な工事請負者を表彰することで、施工者の意欲増進、建設産業の社会的評価の向上を図るため、各工事所管部局で、毎年優良工事施工者表彰を実施しています。

林政部では、令和4年度に完成した林政部発注工事168件の中から、令和5年度林政部長表彰5件及び農林事務所長表彰8件を選定しました。このうち、林政部長表彰については、令和5年10月6日（金）に岐阜県庁舎20階清流ロビーにおいて、表彰式を開催しました。

受賞されました皆様方には、地域の守り手として、益々ご活躍されますことを期待しています。

## ○令和5年度林政部長表彰の受賞者



※左から (株)古川組、西建産業(株)、久松林政部長、(株)前田土木、(株)岡島建設、丸正建設(株)

受賞者	林政部長表彰対象工事
(株)古川組	<溪間工事(海津市)> 公共復旧治山事業 奥谷地区工事
西建産業(株)	<山腹工事(揖斐郡揖斐川町)> 緊急県単治山事業 下山地区工事
(株)前田土木	<林道開設工事(郡上市)> 森林資源循環利用林道整備事業 林業専用道那留～六ノ里線(1工区) 開設工事
(株)岡島建設	<山腹工事(土岐市)> 公共復旧治山事業 園戸地区工事
丸正建設(株)	<溪間工事(大野郡白川村)> 公共緊急総合治山工事(セトノ平)

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(4315) 林政課政策企画係まで

## 付知南小学校みどりの少年団

### が全国緑の少年団活動発表大会で発表しました

「全国緑の少年団活動発表大会」が11月11日に茨城県行方市の茨城県鹿行生涯学習センターにおいて秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えして開催されました。今年度の「みどりの奨励賞」に選ばれた「付知南小学校みどりの少年団」(中津川市)を代表して西尾 董(にしお すみれ)さん、源川 龍兎(げんかわ りゅうと)さんが活動発表を行いました。

付知南小学校みどりの少年団は、令和3年度に結成したばかりですが、江戸幕府の直轄地として林業が栄えてきた土地柄で学校独自で植樹や森林教室を長年行ってきました。地元産業を学ぶ過程では、地元関係団体のバックアップを得てかな削りやVRチェンソーなど、伝統と革新が取り込まれた様々な体験を行っています。

今回は、「私たちが引き継ぐ付知の森林(たからもの)」をテーマに「森と暮らしをつなぐ活動」、「木育」の2つの活動の様子を元気よく発表しました。

各学年が取り組む木育活動のほか、5年生は間伐体験、ご神木の伐採跡地の見学、木材の最終消費である家屋の見学などを行いました。このような多くの学習活動から、地域の価値に気づき、付知の人たちが受け継いできた木の文化を「たからもの」と思い引き継いでいく姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

また、この大会では付知南小学校みどりの少年団全学年で実施している木育活動の講師を務める栗谷本征二(くりやもと せいじ)さんが受賞した「令和5年度緑の少年団育成成功労賞」の表彰もありました。

翌12日の第46回全国育樹祭式典行事の「緑の贈呈」では、茨城県のみどりの少年団が育てたヤマザクラなどの苗木が贈られました。

大会を振り返り、付知南小学校みどりの少年団は、大変貴重な体験ができたことと思います。これからも緑や自然、地域を愛する人へ健やかに成長されるとともに、みどりの少年団活動の伝統を引き継いでいってくれることを願っています。



団旗の入場受渡



発表の様子



表彰



表彰

(右から2番目が付知南小学校みどりの少年団)



左から付知南小学校みどりの少年団 源川さん、西尾さん 緑の少年団育成成功労賞の栗谷本さん



緑の贈呈(ヤマザクラ)

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆】

# 「岐阜の森の文化・木の文化フォーラム」を開催しました

令和5年10月19日（木）に、森林文化アカデミー森の情報センターにて、「岐阜の森の文化・木の文化フォーラム」（以下、「フォーラム」）を開催しました。

フォーラムは、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」が今年4月1日に施行されたことを契機に、商業・観光・福祉施設等の非住宅建築における県産材利用をより一層進めるために開催したものです。

当日は、建築士等の事業者、行政、学生など、100名を超える方々にご参加いただき、会場は満席となりました。

## 「リレー講演」

フォーラムの共催者である公益社団法人国際観光施設協会の会員企業のご協力により、リレー方式で日本各地の優良事例や最新情報、木づかいの可能性について、講演を行いました。

（株）三菱地所設計の小池氏からは2028年に竣工予定の、国内最大規模の木構造柱を使用した「木の本店ビル（東京海上日動新・本店ビル）」について話題提供があり、会場からは著名な海外の共同設計者との連携や、100年後、ビルに使



用した木材をどのように活用するかなどについて質問がありました。  
また、ソニーマーケティング（株）の光成氏の「地産木質材料を活用した『地産地消のトレーラーハウス』」の話題提供には、行政からの個別相談の依頼が寄せられるなど、活発な質疑等がありました。

## リレー講演

**話題1 「木造校舎とモジュール型家具から考える『木づかい』」**

（株）日本設計 建築設計群  
主管 吉岡 紘介 氏

**話題2 「最新の木づかい事例2題」**

（株）三菱地所設計  
チーフアーキテクト 小池 秋彦 氏  
チーフアーキテクト 新田 佳代 氏

**話題3 「企業版ふるさと納税を活用した『地産木質系トレーラーハウス』の提案」**

ソニーマーケティング（株）  
光成 和真 氏

**話題4 「岡山大学共創 commons (OUCX: オークス) におけるCLTの取組み」**

清水建設（株）設計本部木質建築推進部  
設計長 長澤 怜 氏



リレー講演の様子

## 【総括】

4つの話題提供を踏まえ、岐阜県立森林文化アカデミーの涌井学長より、「『オール岐阜』体制による県産材利用促進について」と題して総括をいただきました。



涌井学長による総括

涌井学長からは、「4つの大変チャレンジングな話題提供があった。多くの森林資源を有する岐阜県から新しい木づかいを発信するため、あらゆる場面で木を無駄なく活用する方策を考えていく必要がある。」とのコメントがありました。

## 【その他】

20日には、フォーラムの記念行事として、かしも明治座にて、「木曾式伐木運材図会」の解説、中津川市の川上市有林内にて、式年遷宮伝統伐採式（三ッ緒伐り）の実演等を行いました。



式年遷宮伝統伐採式の実演

今後も県では、県産材利用の更なる促進を図るため、県民や事業者の方々への普及啓発の取組みを進めてまいります。

●詳しい内容を知りたい方は  
TEL 058-272-1848  
岐阜県林政部県産材流通課木造建築推進室  
消費対策係まで



# “ぎふの木”使います!

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結者のご紹介 —



岐阜県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、事業者が県と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

令和5年7月27日に第1回目となる協定締結式を執り行い、15事業者（14協定）と協定を締結しました。その各協定締結者のご紹介シリーズ第3弾です。

## 株式会社十六フィナンシャルグループ（岐阜市）

ホームページ <https://www.16fg.co.jp/>

十六銀行 店舗内装



十六銀行 店舗ロビー壁面

### <今までの取り組み内容>

地域創生やSDGsの取組みとして、店舗改装や新築時には、岐阜県産材を採用することを心がけております。すでに当社では自社の店舗改装時に岐阜県産材を壁面に採用したり、窓口カウンターの背後間仕切に岐阜県産材を採用しています。木材のもつ温かみのある演出が生まれ、来店されたみなさまにも大変好評をいただいております。

### <今後の取り組みとして>

今後も、店舗改装・新築時には、内装木質化として積極的に岐阜県産材の利用に取り組んでまいります。

また、随時、机、椅子などの更新を行っておりますが、その際も岐阜県産材の備品導入を図り、岐阜県の森林づくりに貢献してまいります。

## 株式会社鷺見製材（ひだまりほーむ）（岐阜市）

ホームページ <https://www.hidamari-home.jp>

郡上市で創業して95周年を迎える弊社は、創業時から「木」と「地域」と共に歩んできました。初代は土木業、二代目は製材業、三代目は社寺建築・住宅建築業、そして現在の四代目は地域の皆様に愛される様々な事業を行っていますが、「森」「木」「地域」への想いは創業時から一貫して変わりません。

### <今までの取り組み内容>

県産材利用推進の取組みとして、弊社は県産、国産100%にこだわった家づくりを24年前から取り組んでいます。また、県産材住宅にこだわった県内工務店10社と共に、12年前から「ぎふの木の住まい協議会」を設立し、会を挙げて普及活動を行っております。

最近では、本社敷地内に設けたHidamariCafeに木をふんだんに使った空間をご提供し、多くのお客様に誇りに感じていただいております。

普及活動では、CSR活動の一環として「ぼくらと森のかけはしプロジェクト」を10年継続しており、県内の小学生と共に、森林学習にも積極的に取り組んでおります。

### <今後の取り組みとして>

今後5年間で、県内に木造施設1棟を建設し、さらに多くの皆様に「木の良さ」をお伝えしていきます。また既存の施設にも、県産材の机や椅子を配備し、手に触れていただく環境も整えていきます。

普及活動においても、小学生に向けた森林教室を開催し、未来を担う子どもたちに、岐阜県の森、木への理解や愛着を育むような活動を行ってまいります。



# 森林環境譲与税のお悩み相談は、 地域森林管理支援センターへ

第6弾

～「林業界」「産業界」の変化に対応するために～

地域森林管理支援センター長 荻巣 雅俊

去る10月19日に「岐阜の森の文化・木の文化フォーラム」が、県立森林文化アカデミーで開催されました。事例発表の中で、日本一の木造ビルになるであろう東京海上日動の新・本店ビルについて発表がありました。発表者の(株)三菱地所設計の小池さんからは、100mを超える木構造の困難さとその意義について発表があり、興味深く拝聴しました。特に、共同設計者であるイタリアの著名建築家レンゾ・ピアノ氏が建設過程でのCO<sub>2</sub>の排出削減に徹底して取り組んで設計している旨の説明では、産業界の温暖化に対する取り組みの大きなうねりを感じずにはいられませんでした。今年の夏の猛暑を思い出すとき、このうねりは、全国に波及し、我々森林経営管理制度にたずさわるものが率先して乗りこなしていかなければいけないと感じた一日でした。

このような変化は、森林経営管理制度の「市町村林務担当職員研修」においても受講者から感じ取ることもアンケート等を通じて窺い知ることができました。

以下が、その感想例です。

七宗町ふるさと振興課 堀部 美希

私は今年度から林務担当に就きました。過去には林業事業体に勤務していましたが、出産を機に子育て中心の生活をしていたため、ここ数年は林業から離れていました。今年度から再び関わるようになった私は、離れている間にも林業界の事情は大きく変化していることを知りました。

例えば2019年に施行された森林経営管理制度、2021年におきたウッドショックによる木材価格の高騰、そして2024年からは森林環境税が始まります。

この森林環境税では1人あたり1,000円が徴収されるため、多くの方がこの税金の使い道をかなり気にしています。

こうした現状に対し、林業関係者には今まで以上に柔軟な対応が求められており、知識不足で戸惑いを感じることもありました。地域森林管理支援センターが開催する研修に参加するようになり、新しい制度が始まるにあたっての国や県の狙い、法律に関する知識など、講師が丁寧に説明して下さったことで、初心者でも理解していくことが出来ました。

また、市町村によってそれぞれ抱える問題が異なります。

各市町村から林務担当者が集まるこの場では、それぞれ抱えている業務や課題を共有し、みんなで解決策を考えることが出来ます。特に主催する地域森林管理支援センターが各市町村の林務事情を深く把握されているので、管轄する森林の現況や問題点、それに対して講師からの意見がとても参考になりました。

今後、自分の業務に少しでも早く活かすことが出来るので受講して良かったと感じています。



第12回研修(所有者探索について)

森林経営管理制度や  
森林環境譲与税に関する  
お悩み相談は?

「地域森林管理支援センター」まで

TEL:058-201-5013 FAX:058-275-4398 E-mail:f-shien@g-moriren.or.jp  
〒500-8356 岐阜市六条江東2丁目5番6号 岐阜県森林組合連合会内



# 令和4年度森林環境譲与税を活用した 県による市町村の支援について



森林環境譲与税は、令和4年度に国から全国の地方公共団体に対し500億円が譲与され、うち岐阜県には約2億円（県内の市町村には合計で約14億7千万円）が配分されました。本県では、譲与税を活用して、税の趣旨に基づき森林整備等を実施する市町村の支援に取り組んでおり、その主な内容をご紹介します。

事業内容	決算額（千円）
<b>●市町村の体制等支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域森林管理支援センター等による市町村林務行政の支援</li> <li>市町村による森林整備を支援する地域森林監理士の養成及び活用</li> <li>森林クラウドによる森林情報の提供</li> <li>針広混交林化施業指針の策定に向けた調査・研究</li> </ul>	100,543
<b>●間伐等の森林整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフラインの確保に向けた立木の事前伐採支援</li> </ul>	28,938
<b>●森林整備の担い手確保・育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>森のジョブステーションぎふ等による担い手の確保・育成対策</li> <li>林業事業者経営者のマネジメント能力の向上を図る研修会等の開催</li> </ul>	20,774
<b>●木材利用の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリバラ大会の返還木材を活用した県産材利用のPR</li> <li>県産材利用促進に向けた研修等の開催</li> </ul>	5,157
<b>●普及啓発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林総合教育センター（morinos）で実施する森林教育プログラムの開発、普及啓発等</li> </ul>	28,191
合 計	183,602

※各項目の決算額は千円未満を四捨五入しているため、合計額とは一致しません。

市町村の体制の支援をはじめ、担い手確保・育成対策、普及啓発等の施策を横断的に実施することで、市町村による森林の経営管理の取り組みが進みました。

令和4年度の主な実績	
森林所有者への意向調査	4,390ha (25市町村)
経営管理権集積計画の策定	384ha (8市町)
市町村が主体となり実施された間伐	577ha
新規就業者の確保	85名

岐阜県における森林環境譲与税の使途は、インターネットで公表しています。詳しい事業内容や事業実績については、県ホームページをご覧ください。  
（県HP「森林環境税・森林環境譲与税」：  
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/104589.html>）

●お問い合わせは TEL 058-272-1111 内線(4348) 森林活用推進課森林吸収源対策室森林吸収源対策係まで

## 森林の土地を取得したときは 市町村への届出が必要です!



新たに森林の土地を取得したときは、森林法の定めにより届出が必要です。注) 立木のみを取得した場合は、届出は不要です。

### 1 なぜ届出が必要?

行政が森林所有者に対して森林の整備等に関する助言をしたり、事業者が森林所有者に働きかけて間伐等の整備を行う森林を集約化して効率を上げたりするために、森林所有者を把握することが重要であるからです。

### 2 どのような場合に届出が必要?

個人か法人かによらず、売買、相続、贈与等で新たに森林の土地を取得した場合に必要です。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を行った場合は、森林の土地の所有者届出は不要です。

### 3 いつ、どこへ届出を出すの?

森林所有者となった日から90日以内に、取得した森林のある市町村長に届出書を提出します。

### 4 どのような届出書を提出するの?

「森林の土地の所有者届出書」に次の書類を添付して提出してください。

添付書類 ①取得した森林の位置を示す図面(任意の図面に大まかな位置を記入)

②取得した森林の登記事項証明書、売買契約書の写しなど権利を取得したことがわかる書類

●届出書の様式など詳しくは、林野庁のホームページ(「森林の土地の所有者届出制度」で検索)をご覧ください。

### 5 もし、届出を出さない?

届出をしない、または虚偽の届出をしたときは、10万円以下の過料が科されることがあります。



【林政課 森林計画係】 ●お問い合わせは、市町村林務担当課または県庁林政課森林計画係(TEL 058-272-8471)まで



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「長良川沿いのヤナギの木に生えていたキノコを鑑定してほしい」と知人から連絡がありました。翌日そのキノコを見せてもらうと、ヒラタケではありませんか。ヒラタケ（*Pleurotus ostreatus*）は「寒タケ」とも呼ばれるように、晩秋から早春までの寒い時期に発生しやすい木材腐朽菌で、自然豊富な山中だけでなく、街路樹や公園の樹木の幹

や根元などにも発生します。

傘表面は灰黒色〜灰白色、肉が厚くポリウムがあり、折り重なって群生することもしばしばです。味も香りも癖がないため、汁物や鍋物、天ぷらなど、どんな料理にもよく合う優れた食用菌です。そのため「人工しめじ」や「信州しめじ」の名前で、栽培品が流通しています。

さて冒頭のヒラタケですが、改めてヒラタケの裏側をしっかりと見ると、ヒダに白く小さなコブがあるではありませんか。

これは「ヒラタケ白こぶ病」と呼ばれるもので、キノコ業界では1979年に福岡県下の栽培品で報告されて以来、日本列島を北上し、今では東北地方でも発生しています。これは珍しい症状ではなく、傘やヒダ、軸（柄）などから線虫が侵入し、菌糸が分化して白色のコブを作るものです。線虫は内部の菌糸を食べて産卵し、ふ化

することは分かっていますが、明確な発生条件や線虫の生活史は解明されていません。

岐阜県立森林文化アカデミーの津田格教授にお聞きすると、ナミトモナガキノコバエというキノコバエの一種が、ヒラタケシロコブセンチュウという線虫を運び、このヒラタケシロコブセンチュウが白いこぶを形成させるとのことでした。

しかしヒラタケは線虫に侵されるだけでなく、生きた線虫を栄養にする特殊な能力も持っています。ヒラタケの菌糸は毒素を出して線虫を麻痺させ、線虫の口から菌糸を侵入させて内側から消化してしま

うのです。

ヒラタケ栽培は丸太利用による原木栽培もできます



ヒラタケのヒダに発生した白こぶ病

が、主流はオガ屑利用による菌床栽培です。この栽培を野外でおこなうと「ヒラタケ白こぶ病」が発生しやすいため、キノコバエが近づけないように網目が1mm程度の防虫ネットで覆って防除します。

長良川河畔のヒラタケは食うか食われるかの競争関係の中で生きているようにも見えますが、見方を変えれば線虫を養いながら自分の子孫を残す「共生」をしているようにも感じられたのです。



# 山のおじゃまむし



## —林友会、年賀状と喪中はがき—【第389回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

林友会は県職林政部を退職した職員の親睦団体である。その一つに私が所属する岐阜支部がある。毎年総会が開かれ、そのあとに懇親会がある。ここでは昔話に花が咲き楽しいひと時となる。このため、総会は欠席し懇親会だけに出席する者もいる。ところがコロナの影響でここ数年懇親会ができなくなり、総会のみ。出席者は役員だけというさびしいものとなった。それが今年になって、禁止令が解け懇親会ができるようになった。これで仲間の近況がわかると楽しみであった。7月4日、総会が開催された。5年ぶりだ。場所は「ホテルグランヴェール岐山」。いつもと同じ場所だ。「久しぶり。元気か」。「病院通いの毎日だよ」。こんな会話があちこちから聞こえてくる。時間が来た。皆が席に着いた。驚いた。いつもは40名くらい参加者しているのに、今回は半数くらい。物故者が多いのと高齢による自主退会者が増えていたのである。これが岐阜支部の現状かとさびしくなった。物故者は親しくしていた人ばかりで、在りし日の顔が目浮かんできた。逆に毎年参加していたのに、欠席された方も多かった。「あんなに元気だったのに、何があったのだろうか」と心配になってきた。しかし、退職者が顔を合わせるのはこの会くらい。現状を知っている人は少なかった。やはり高齢。この言葉が頭をよぎる。自分もその仲間なので、こんなことを思ってしまう。総会はいつも通り。あっという間に終わった。

× × × ×

さあ、いよいよ懇親会だ。

久しぶりに酒を酌み交わした。おいしい。いつもと違う味だ。はじめは味わいながら飲んでしたが、そのうちに酔いが回り、ペースがはやくなる。しかし、ぐいぐい飲む人は少ない。歳とともに酒も弱くなっているようだ。出てくる話題は健康の話。「体の調子はどう」。「医者通いの毎日だよ」。「薬でおかしくなるのではないかと心配だよ」。こんな話があちこちから聞こえてくる。次に出てくるのが孫の話。私は孫と暮らしているのだから、毎日見ている。しかし、多くの人は年に数回しか会うことができない。これが楽しみだという。それがコロナの影響で4年以上見てないという。「さびしいでしょう」と声をかけると「全然。前より楽しいよ」と意外な返事。テレビのような大きな画面に孫の顔が出てきて、話すことができるからだという。「おじいちゃん、歌をうたうから聞いててね」。これが今の時代。やはり80過ぎの高齢者だとつくづく感じた。

× × × ×

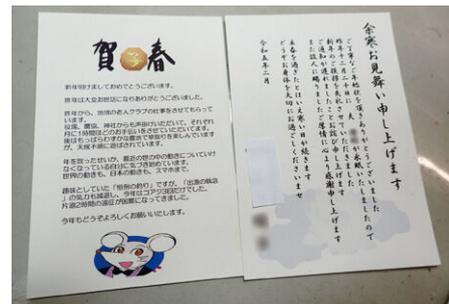
参加者の多くは75歳以上の高齢者だ。話題がなくなると出てくるのが寿命の話。長生きはしたい。しかし、ボケて人の世話になってまで生きようと思っていないと、ほとんどの人は口

にする。私もその一人だ。物忘れがひどくなり、いつも家族から注意されるからだ。一人暮らしなら間違いなくぼけ老人。そんなことを思ってしまう。何年前か、この懇親会に某氏が出席した。医者から余命6か月と言われたので、お別れに来たのだという。皆と話した後、この次は天国で会おうと言って帰っていった。すごい精神力だ。私だったらとてもできないと思った。話は変わるが私自身のこと。80歳前から体力がすごく弱くなったこと。朝、体がだるくて起きられないのである。それで、いろいろなビタミン剤を飲んだ。しかし、効果はどれも同じ。疲れが取れないのである。それで薬局で相談した。すると活参(かつじん)が効果があるという。しかし、1本数千円と高価格なので、毎日飲めない。それで2日おきに飲んでいる。その間は栄養剤を利用している。少しはよくなったような気がする。このほかにもいろいろな薬を飲んでいるので、私の体は薬だらけ。薬害が出ないかと心配になる。これは私だけでなく多くの高齢者もそうだろうと思う。

× × × ×

総会では冒頭に物故者への黙祷が行われ、そのなかにI氏があった。間違いではないかと思った。それは今年の年賀状には(1) 昨年地域から老人クラブの仕事をしています。時間があれば農地で草取りを楽しんでいます。(2) 趣味としていた「恒例の釣り」ですが、気力が減退し、今年コアジ釣りに3回出かけたただけでした。と書いてあったからである。それが奥様から年賀状の返事が来た。「余寒お見舞い申し上げます。ご丁寧な年始状を頂きありがとうございます。昨年12月20日に夫が永眠いたしましたので新年のご挨拶を失礼させていただきました。ご通知が遅れましたことお詫言申し上げます。また故人に賜りましたご厚情に心より感謝申し上げます。令和5年2月 奥様」

I氏はなぜ亡くなったのか。元気だったのに急に亡くなってしまった。悔しかっただろうな。そんなことを思うと、在りし日の姿が目浮かび懐かしくなってきた。さようなら。



## 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

7

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

## 淡水魚類を育む水田地帯を再生する(用排水路編)

## 背景

岐阜県では「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、淡水魚類を育む水田地帯の再生事業をおこなっています。濃尾平野に広がる水田地帯には、絶滅危惧種や漁業対象種を含む70種程度の淡水魚類が確認されています（岐阜県水産研究所調べ）。しかし、稲作農業の利便性や効率性を向上させるための農地整備が進むにつれ、これらの淡水魚類の多くが水田地帯で減少しています。一般的には、農業水路に段差（落差工）を設けるため淡水魚類の遡上・移動が妨げられることや、農業水路のコンクリート化により淡水魚類の採餌場や繁殖場が失われることが大きな原因だと言われています。しかし、全国的に抜本的な解決には至っていません。

## 事業の内容

こうした現状を改善するため、関連する行政機関（農政部農地整備課、県土整備部河川課、農政部農村振興課、水産研究所）が集まり、平成27年に「水みちの連続性連携検討会」を発足させました（図1）。幾つかある対策のうち、稲作農地の整備を担当する農政部農地整備課では、農業水路内での淡水魚類の遡上・移動を促進させるため、市町村と連携しながら農業水路の段差に魚道を設置するハード事業を実施しています（図2）。さらには、こうしたハード事業が魚類の保全効果に本当につながっているのかを水産研究所が検証しています（図3）。



図1

関市千疋  
(2019年3月完成)可児市今  
(2022年3月完成)

図2



図3

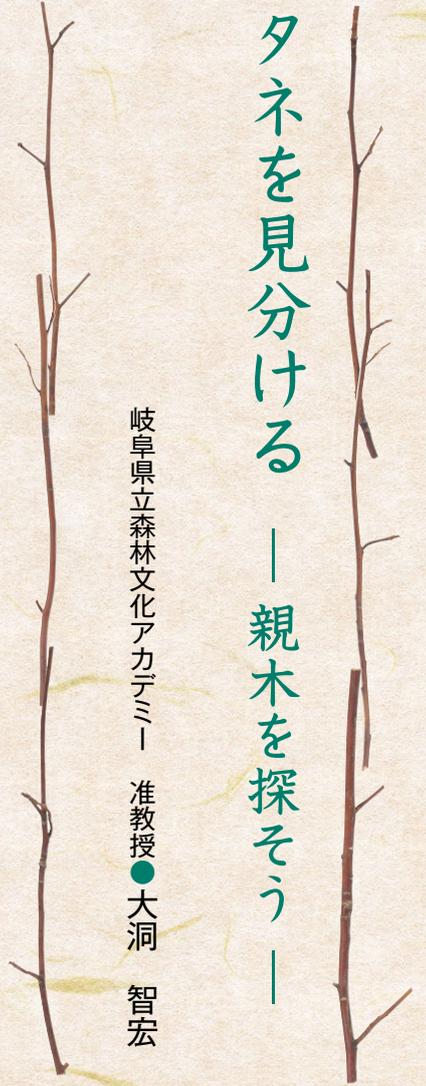
## 事業の効果

この事業を実施した地区では、淡水魚類の回復効果が得られています。例えば、関市千疋では、落差により魚類の遡上や移動が制限されていた対策以前に農業水路で確認された魚種は4種（44個体）のみでした。しかし、対策以後では、11種（179個体）の魚種が確認されるようになりました。また、可児市今では、落差により魚類の遡上や移動が制限されていた対策以前には、農業水路で確認された魚種は4種（213個体）でした。しかし、対策以後では、7種（338個体）の魚種が確認されるようになりました。

この取り組みは豊かな農村環境や生物多様性を守る一方で、農家などへの経済的メリットがないのが実情です。そのため、県下全域に取り組みを普及させるためには、より一層の熱意や工夫を創り出していくことが今後の課題です。

タネを見分ける — 親木を探そう —

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 大洞 智宏



樹木のタネ

樹木のタネといえばどのようなのを想像しますか。ドングリヤトチの実、クリの実などででしょうか。タネといえば一般的には種子（しゅし）と同じ意味で使われているように思えます。しかし、図鑑などの定義に従えば、トチの実（写真1上）は種子になります。クリの実（写真1下）やドングリは果実になります。



写真1

果実と種子

では、種子と果実（かじつ）はどのように違うのでしょうか。例えば果物のカキを考えてみましょう。皆さんが口にするカキは果実（内果皮）の部分

で、その中からタネ（種子）が出てきます。カキを切ってみればよく分かりますよね。しかし、私たちは種子と果実を区別せず「タネ」として見ていることが多くあります。

例えば、クリの実はいがの中から出てくるので種子のように見えますが、実際には果実に分類されます（堅い果皮の部分と渋皮の部分が果皮になりその内側が種子になります）。また、カエデの実がプロペラ状になりますが、これは果皮が発達したもので果実に該当します。

細かく見るとややこしくなるので、今回はクリやカエデなどのように果実が一般的にタネとして取り扱われるものや種子をまとめて「タネ」として話します。

タネを見分ける

タネと一口に言ってもリンゴとカキのように樹木によってその形は大きく

異なります。逆に考えれば、タネの特徴からその親となる樹木の種類を推測することができるといえます。

タネの持つ特徴は色々ありますが、大きさという面からタネを見てみると、直径1mm程度でルーペを使わないとゴミと見分けのつかない小さなもの（写真2下 イズセンリョウ）から、直径5cmを超える大型のもの（写真2上 モダマ）、はては、世界最大の長さ35cmにもなるオオミヤシのタネなどがあります。

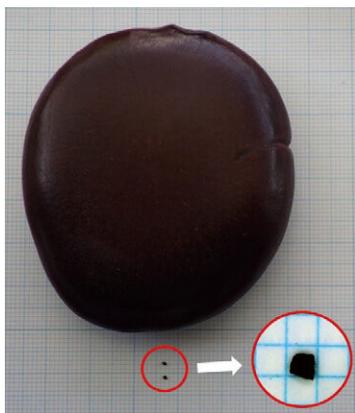


写真2

形という面では、写真3のように、

フジは扁平でボタンのような形、エゴノキはラグビーボール型、ナンテンは中央が凹むお椀型、ソヨゴは三日月型、マンリョウは縞模様のある球形というように非常に個性豊かで、すぐに何のタネなのか覚えることができそうです。



写真3

しかし、実際には非常に似通ったタネもあるので判別が一筋縄ではいかない部分もありますが、大きさや形の特徴を利用して、親木の種類が検索できる図鑑※も出版されているので調べることは特別困難ではありません。検索が面倒でも図鑑を眺めながら自然の造形の美しさ、不思議さを味わうだけでも楽しいと思います。

野外で落ちていたタネを見つけたら、形を観察してどの木から落ちてきたのかを推理してみてください。

※「木のタネ検索図鑑」小南陽亮、田内裕之、八木橋勉 編著 文一総合出版  
注：写真の背景はいずれも1mm方眼



# ぎふ木遊館通信



ぎふ木遊館では、大型木製遊具や木のおもちゃで楽しく木にふれあってもらうこと以外に、土日・祝日を中心に、季節に合った遊びや木のものづくりなどの木育プログラムを開催しています。

今回はその中の「わたしのおみせやさん」と「どんぐりの木をつくろう（どんぐりクラブ上級編）」の2つのプログラムを紹介します。

## わたしのおみせやさん

講師は NPO 法人岐阜県木育推進協議会の北野輝帆子さん。岐阜県が誇るブランド材「長良杉」の端材で、自分の好きなものを並べ飾ることができる、まるでおみせやさんのような置物をつくるプログラムです。

はじめに今回使用する長良杉について、輪切りや植木鉢に植えてあるスギを実際に見ながら学びました。子どもたちは興味津々に話を聞いていました。

長良杉について学んだ後、早速作る作業に取りかかりました。金づちの使い方を教わりながら、木を傷つけないように、また釘が曲がってしまわないように気をつけながら釘を打ち付けていきました。はじめは恐る恐る金づちを使っていた子どもたちでしたが、慣れてくるとまっすぐに素早く打ち付けることができるようになり、子どもたちの呑み込みの早さに保護者の方も驚いていました。

次に装飾をつけていきました。夏らしく貝を使って飾りつけをする子、恐竜を置く位置に合わせて飾り付ける子等々。同じ形なのに皆さんの個性が光るわたしだけの作品に仕上がっていました。

参加者からは「釘を打つのが楽しかった」「子どもたちだけでも釘打ちができることに気が付くことができた」等の感想をいただきました。



金づちの使い方を学ぶ子どもたち



金づちを使つての組立



完成品

## どんぐりの木をつくろう（どんぐりクラブ上級編）

講師はぎふ木育協会の小澤歩美さん。どんぐりは多くの方が子どもの頃に集めて遊んだりしたのではないのでしょうか。「どんぐりの木をつくろう」は、どんぐりのことを学びながら素敵な標本を作る、幅広い世代から人気のあるプログラムです。

どんぐりのなる木について、葉っぱやどんぐりの実物を見ながら、どんぐりの特徴を学び、見分けるコツを学んでいきました。学んだ後に、配布された箱を開けると、どんぐりが9つ入っていました。まるでどんぐりの宝箱のようで、皆さんワクワクした様子でした。

次にどの樹種のどんぐりなのかを調べる同定（どうてい）をしていきました。学んだことを活かし、どんぐりの特徴を見分け、名前の書かれた紙の上に小さな箱に入ったどんぐりを置き、同定をしていきました。

同定ができたらよいよ標本づくりです。どんぐりをピカピカに磨いたら、名札を付け、土台に接着したり、ワイヤーを使って木に付けていきました。完成したどんぐりの木は少し触ると、どんぐりが小さくゆらゆら揺れて、とても愛らしかったです。

最後にどんぐり虫の話や本の読み聞かせがありました。どんぐり虫を実際にみた子どもたちは怖がることもなく、手に乗せたりして、じっくり観察していました。

参加者からは「いろんな種類のどんぐりのことを学べたり、知ることができて良かった」「どんぐりの種類を調べることが楽しかった」等の感想をいただきました。



プログラムを楽しむ家族



どんぐりの同定



完成品



やがてみんなの森になる

# morinos

## 出前体験！！

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施している出前体験についてご紹介します！

### <高山市清見小学校3年生、防災を兼ねた火起こし体験>

今回ご紹介するのは、岐阜県高山市清見小学校で実施した出前体験についてです。『防災教育の一環で緊急時の火起こし体験をして欲しい』との依頼を、清見小学校から受けたのがきっかけで、「morinos流の火起こし体験」を出前することとなりました。

火を起こすのに何が必要か。どんなスギの葉が燃えやすいのか。火起こしのための道具をどう使うのか。最初から答えを説明してしまうのではなく、まずは子供たち自身に考えてもらいます。「火を起こすには、石や木がいるんじゃない?」、「緑色のスギの葉は燃えにくそうだね」、「火を起こすための道具でロープを渡されたけど、どう使うんだろう?」などなど、みんなで話し合いながら答えを探してもらいました。きっと、話を聞くだけよりも記憶に残る学びとなったことでしょう。



火を起こすには何が必要かな?



どのスギの葉がよく燃えるのかを実践



みんなで協力していざ火起こし

この体験では、ただ火を起こすだけではありません。みんなが頑張ってつけた火を使ってお湯を沸かします。今回お湯を沸かすのに使った道具は、「ケリーケトル」といい、これはアイルランドでケリーさんが考案したため「ケリーケトル」と呼ばれている、見た目が特徴的なアウトドアケトルです。そして、そのお湯を使い、賞味期限の近づいてきた防災備蓄のフリーズドライ味噌汁を飲みました。



つけた火をケリーケトルへ



左がケリーケトル、右がたき火台



頑張った後の味噌汁はおいしい

今回のこの活動は、高山市緑化推進委員会、市役所の八賀さん、平瀬さん、清見町の塩谷さん、太田さんのご協力のもと実現することができました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

清見小学校3年生のみなさんにとっても、普段経験することのできない貴重な体験となったことでしょう。今回の経験を通じた学びが、みなさんの記憶に濃く残ってくれたらうれしいです。

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube  
「morinosチャンネル」

# とき温泉KAMABA

土岐市土岐津町土岐口1372-1



施設全景

## 施設の概要

事業年度	令和4年度
事業主体	大丸開発株式会社
構造 延床面積	木造2階建 2987.7㎡
施設用途	商業施設
木材使用量 使用樹種	5.65㎡ 桧ストランドボード
全体事業費	733,600千円
助成額	6,515千円（県産材需要拡大施設等整備事業）
設計者	レンスタイル株式会社
施工業者	丸仲建設株式会社
工期	令和3年12月～令和4年9月

## 施設の経緯

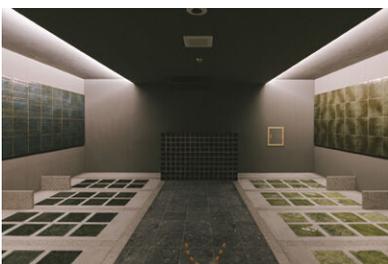
1300余年の歴史を持つ美濃焼のように、愛され続ける湯屋を作りたい。そんな想いから、KAMABA（窯場）と名づけた天然温泉施設です。温泉は地下1500mから湧き出ております。



露天風呂



休憩処



岩盤浴室



エントランス

## ここに注目!!

自慢は美濃焼のお皿を壁一面にディスプレイしたエントランス、岐阜県産木材を使用した内装と家具、美しいタイルで彩られた岩盤浴室。そして、9種類のお風呂と大きなサウナ、深い水風呂、開放的な広い露天風呂です。

## 利用者の様子

天然温泉、岩盤浴、休憩処、食事処、癒処など、ここは1日存分に楽しめる場所がたくさんそろっているので、皆様それぞれ、お好みの過ごし方でくつろいでいらっしやいます。

■ 問い合わせ先  
とき温泉KAMABA  
TEL 0572-56-2615



## スギ心去り平角材の強度を考える(2)

森林研究所 ● 土肥 基生

### はじめに

流通するスギ原木の大径化が進んでおり、末口径が40cmを超える丸太も珍しくなくなってきました。このような丸太からは、仕上がり寸法120mm×240mmの平角材を2丁取り(図1)することが可能ですが、心去り材の強度に関するデータは全国的にも少なく、所定の強度(製材JASの等級ごとに定められた「基準強度」)を有するかについて懸念があります。本誌819号では、材面の「節」が心去り材を貫通する場合や、大きな節が平角材の下側に位置する場合などで基準強度を下回ったケースについて紹介しました。今回

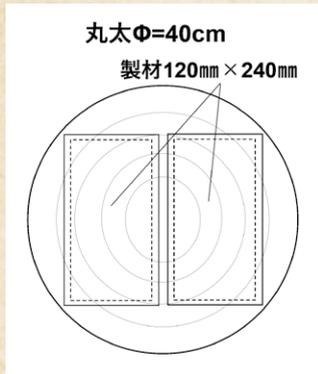


図1 平角材2丁取りの木取り例

は、平角材の乾燥方法によって発生する「内部割れ」の影響について報告します。

### 内部割れ発生の危険性

現在、製材工場などでは、スギやヒノキなどの構造材の多くは高温セット処理工程を含む乾燥(以下「高温乾燥」という)が行われていきます。これは製材の表面を高温セット処理で固めて「心持ち材」に発生する「表面割れ」を抑制するためです。一方で、心去りの場合は製材の木口面に年輪の中心(髄)を含まず、年輪の放射方向に対する割れが起こりにくいため、高温乾燥で製材の表面



図2 内部割れ(上)とせん断破壊した平角材(下)

を固める必要性は低いと考えられます。しかし実際には、製材の断面が大きくなると乾燥に時間がかかるため、乾燥時間を短縮する目的で高温乾燥が行われる場合があります。「心去り材」で高温乾燥を行うと「表面割れ」は抑制できませんが、過乾燥気味に仕上がると「心持ち材」同様に「内部割れ(図2上)」が発生しやすくなります。この内部割れは「心持ち材」の場合と異なり、割れ幅が大きくなると断面を貫通してしまいます。このような材で曲げ強度試験を行うと、小さな荷重で曲げ強度試験を断破壊が生じ、製材が分断されてしまいます(図2下)。

### 乾燥方法の改良による内部割れの低減

現在、当所では、乾燥工程の途中

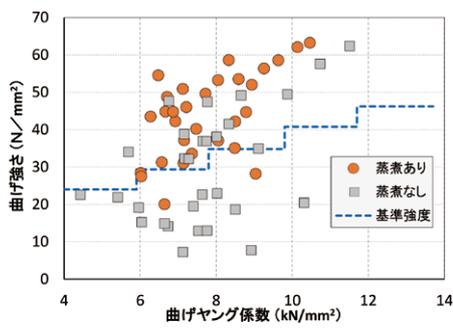


図3 蒸煮の有無による強度試験結果の比較

に「蒸煮処理」を加えることで「内部割れ」を抑制させる方法を検討しています。弱減圧乾燥は、高温乾燥に比べて低い温度で乾燥を行うものですが、製材の表面がセット処理され内部割れの危険がある点で高温乾燥と同様の課題があります。図3は、この弱減圧乾燥の途中で「蒸煮処理」を行ったものと、そうでないものの強度試験の結果の比較を示しています。橙色の点は蒸煮を行った材料であり、青色で示した点線(基準強度)の上側に位置するものが多く、基準強度以上の強さを有する材が多いのに対し、灰色の点(蒸煮なし)では基準強度を下回る材が多く見られました。基準強度を下回った材の多くは内部割れによる「せん断破壊」が生じていました。今回の結果から、「蒸煮処理」を加えたことで「内部割れ」が低減し、曲げ強さの低下を防げることが示唆されました。現在は、この「蒸煮処理」のタイミングや処理時間が最適なものとなるよう試験を継続しています。また、今回のデータは弱減圧乾燥によるものですが、通常使われる常圧の高温乾燥でも効果があるかを確認していきまので、また報告する機会を設けたいと考えています。

● 詳しい内容を知りたい方は  
TEL 0575-51331-25085

森林研究所まで



# 主伐・再造林の取組み事例



■東濃農林事務所 林業課  
林業普及指導員 上村 康人

## 東濃地域の再造林の状況

東濃農林事務所管内は多治見市、瑞浪市、土岐市の3市からなり、森林面積は24,190 haで森林率は63%になります。このうち瑞浪市、土岐市の公有林(888 ha)では陶都森林組合と森林経営委託契約を締結し、森林経営計画に基づき、計画的に主伐・再造林を実施しています。

## 取組みの概要

主伐・再造林の取組みは、よい方法を模索しながら、進められているものと思います。今回は、その取組みの考え方の再確認と調査研究結果等の新たな知見を基にした普及事例を紹介します。

取組みの考え方は、既に皆さん、ご承知ではあると思いますが、改めて、なぜ模索が必要なのか、調査が必要なのか、新たな植栽木に注視しなければならないのかといった視点を共有することで、関係者の皆さんと一緒に取り組む際に、より意識を持てるようになると思います、取り組みました。

調査研究結果等として、管内の瑞浪市と多治見市に、森林所有者や事業体の協力のもと、県森林研究所と協働で設置した調査区における調査研究結果や確認した事実とともに、今後の対応について提案しました。

## 取組みの考え方の整理

今回、改めて、確認した内容は、次のとおりです。

人工林の齢級の平準化や木材の需要拡大へ対応するためには、主伐・再造林が有効であるとして、施策が進められ、県内でも各地でその実施が進んでいます。また、当管内でも数年前から、毎年主伐・再造林が実施されるようになりました。一方で、植栽した苗木をシカやウサギなどによる被害から守らなければなりません。苗木が一定の高さになるまで、葉特に梢端部を守る必要があります。一方で、苗木を守る資材として、幼齢木単木保護材が、県内の地理的環境下があるかは、近年、調査研究が始まったばかりです。また、林業に被害を与える動物の個体数などの生育状況は、人の暮らしの変化とともに、変化してきています。特にシカの増加による被害が問題です。このように、模索が必要な状況が意味するところは、林業者と調査研究機関、林業普及指導員が、より一層に最新の現場状況を都度、共有しながら、協力して、よい方法を検討・試行・実施する必要がありますという事です。

タイプの異なる幼齢木単木保護資材として、チューブ式とネット式(以下、チューブ式・ネット式)を比較した調査区が管内に設置さ

れているので、これらを活用することとしました。

これらの内容について、管内の各市、管内事業体ごとに、必要な部分を説明し、協力関係について、意識合わせとすることができました。

## 調査研究結果等の普及

多治見市の調査区における研究結果が、本誌第841号(2023.10)で紹介されました。調査は、チューブ式またはネット式を施工した苗木、防鹿柵内の苗木の3種類について、植栽後5年間の根本直径と樹高調査が実施されました。結果は、チューブ式を施工した苗木は、樹高が最も高い一方で、根本直径は最も小さく、苗木の健全度の指標となる比較苗木(樹高/根本直径)が最も高くなっていました。また、ヒノキの梢端は柔らかく、垂れることから、幼齢木単木保護資材を設置すると樹形異常が発生しやすいと言われ、試験地では毎年、数%程度梢端曲がりが発生しているとのことで、樹形異常の早期発見と対処が大切とのことです。他地域でのスギを対象とした調査結果では、7年程度経過すると、資材による成長の差がなくなるとされれています。そのため、ヒノキについても今後も継続的に成長の状況を注視していく必要があります。

瑞浪市の調査区(詳細は本誌第

831号(2022・12)において、当事務所の巡回で確認した事象として、チューブが強風にあおられ、苗木がチューブから外れてしまうことがありました。調査区を含む事業地は、県内では比較的標高が低く、なだらかな山頂付近に位置しており、強風がありません。使用した資材は、チューブを土中に差し込んだ1本の支柱にプラスチック製の結束バンドにより固定しています。確認したところ、この結束バンドが切れ、その後、固定がなくなったチューブが風で動く際に、苗木が飛び出てしまったものと考えています。

また、巡回時には、多治見市、瑞浪市の調査区のほか、土岐市においてチューブ式を施工した事業地の全てで、樹形異常(梢端曲がり)が生じた苗木があることを確認しました。

以上の調査研究結果と巡回中の確認した事象について、事業を実施した森林組合に理解していただき、補修作業を行う際には、合わせて、樹形異常やチューブが外れていないか注視することが大切であるという認識を共有しました。また、土岐市においてチューブ式を施工した事業地の一部では、今年度から、協定に基づく企業の森である「岐阜久尻中央可鍛の森」の活動として、苗木の育成・苗木の修復、下刈り)が行われることとなりました。この活動がより効果的に

なるよう、上記の内容を取組みの中で実施していただけるよう関係者へ説明しました。



強風により外れたチューブ (瑞浪市試験区)



調査区域に現れたシカ (瑞浪市試験区)



調査区域に現れたウサギ (瑞浪市試験区)



食害により枯死した苗木 (瑞浪市忌避剤散布試験区)

### 今後の課題

管内でチューブ式を施工した再造林地では、梢端がチューブから頭を出し始めた箇所もでてきました。これから更に成長すると、次は、資材をいつ外すべきかという議論が本格化してきます。その検討時期はもう間近です。関係者同士の連携を一層円滑に進め、皆さんと一緒に課題に取り組んでいきたいです。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0572-2311111(内線290)

東濃農林事務所まで

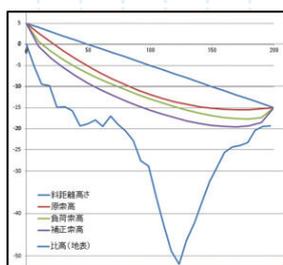
## スマート林業通信 38

### 油圧式集材機と架線架設・設計について

9月から10月にかけて郡上森林組合において油圧式集材機を用いた林業架線研修が行われ、当スマート林業推進係も講師として参加しました。

座学では、森林総合研究所が公開している集材架線設計ソフト(KPLAN)を用いて、計算因子の説明や今回架設する架線の安全率を計算しました。

また、架線縦断面図を表示できるエクセルシートを使い、中間サポーターの必要性を検討しました。



研修地の架線縦断面図  
架線(円弧線)と地表(折れ線)が干渉しないことが確認できる。

これまで架線縦断面図の作成は、地図上の等高線から標高を読み取り、それを元に方眼紙に地表を表す折れ線を描き入れるなどとても手間のかかる作業でした。そこで今回の研修では、QGISを用いてDEMデータから必要な標高データを抽出し、エクセルシートに貼り付けるだけで作図ができる簡単な方法を紹介します。

しました。

また、現場での架設作業では小型ドローンを使用して予備線の引き回しを行いました。現場技術者からは「作業が早くて楽」との声が聞かれました。



油圧式集材機 (株) 前田製作所製

今回用いた油圧式集材機は(株)前田製作所のFY253です。

無線リモコンで簡単に操作でき、従来の集材機のような専属のオペレーターによる複雑なレバー操作は不要です。

この研修では、KPLAN、QGISやドローン、油圧式集材機といったスマート林業機器等をうまく活用できました。今後もこのような支援を継続していきます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-135125355

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで

# 伝統技法の継承に向けて （三ツ緒伐り研修会を開催）

9月8日～9日、東濃森林管理署内の岩村国有林（恵那市岩村町）にて三ツ緒伐り研修会を開催しました。

三ツ緒伐りとは、三ツ紐伐り（主に木曾での呼び名）、三ツ伐り（主に裏木曾での呼び名）などと呼ばれる立木の伐倒方法で、立木へ三方向から斧を入れ伐倒します。

手順としては、伐倒方向から見て左右に二箇所、伐倒方向とは逆に一箇所（の弦（つる）と呼ばれる部分を残した状態で立木をくりぬき、伐倒方向とは逆に残した弦を伐ることにより正確な方向へ伐倒する方法で、貴重な木材を伐倒する際に用いられています。

この伐採方法は、伐倒する際に生じる材の芯抜け（中心部が切り株側に残ってしまうこと）により、木材の中心部に穴が空いてしまうもので、木材の最も価値のある箇所へ損傷を与える（割裂（木材が割れたり裂けたりする状態になること）、胴折れ（木材が途中で折れてしまうこと）で、伐倒方向を誤った時に起きやすい）といった木材への損傷を与えないことはもとより、林業の作業で最も危険とされる伐倒作業を安全に

行える方法として、奈良・平安時代にはすでにこの方法が用いられたようで、現在行われているチェーンソー伐倒の基礎となっている方法といわれており、

現在でも、伊勢神宮の式年遷宮用の御神木伐採等ではこの方法が用いられています。

今回は、この伝統技法の伝承に向けて、神宮司廳宮林部、上松三ツ紐伐り保存会、裏木曾三ツ伐り保存会より40名の方々に集まっていたいただきました。

研修会初日は、参加した三団体で混成チームを4組作り、それぞれの組で意見交換を行いながら、各組1本ずつ



橋本氏により伐倒指導を受ける様子



残った弦に斧を入れ木が倒れる瞬間

ヒノキ（胸高直径60cm、樹高25m程度）を伐倒しました。

この日は普段は見ることができない伝統技法を一般の方々への理解を深めるため、公開して行ったところ、100名を超える方が見学に訪れ、迫力ある伐倒作業を堪能されました。

二日目は、研修会参加者のみで、伐倒の方法・作法を事細かに、先輩杣夫である橋本氏（前回の平成17年、前々回の昭和60年の伊勢神宮の御杣始祭に携わられた、三ツ紐伐りの第一人者であり、現在も後身の指導に力を注がれている、上松三ツ紐伐り保存会きつての杣夫）に教わりながら、今回はそれぞれの所属毎で組を作り、初日同様に各組1本ずつ4本のヒノキ（胸高直径60cm、樹高25m程度）を伐倒しました。

保存会の中には、経験が浅い人もおり、斧の握り方、振り方や伐倒後に行われる鳥総立て（※）の作法等についても学びました。

伐倒した後は、杣夫の命とも言える斧の研ぎ方、手入れ方法に至るまで丁寧に指導していただきました。林業に限らず、新しい技術の開発も大切ですが、今回のような伝統技法の継承も大きな課題となっています。これらのために国有林も協力できればと思います。

### ※鳥総立て

伐倒した木の切り株へ、その木の梢を立てる儀式で、山の神への感謝とその山の再生を願って行われる。伐倒に携わった杣夫の内、一番若い杣夫が梢を取りに行き、それを切り株付近で待つ杣夫頭へ技術を教わったお札を込めて差し出し、杣夫頭が切り株へ梢を立て、最後に全員でその木に感謝する習わしとなっている。（この儀式は、古くは万葉集の三ノ巻、一七ノ巻にも書かれている）



鳥総立て

（東濃森林管理署）

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
12月13日(水)~ 12月15日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：13日 学科 8:50~17:10 14日 学・実 8:50~12:00 15日 実技 8:30~17:40</li> <li>● 申込：開催日の10日前まで</li> <li>● 受講料：23,870円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	13日(学科)・14日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 15日(実技) (樹木の国 土場(山県市椎倉 203-1))  林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月17日(水)~ 1月18日(木)	木材加工用機械作業主任者 技能講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：17日~18日 8:30~17:40</li> <li>● 申込：開催日の10日前まで</li> <li>● 受講料：17,600円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6)  林材業労災防止協会 a 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月24日(水)~ 1月25日(木)	リスクアセスメント担当者 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：24日(林業) 9:20~16:30 25日(製造業) 9:20~16:30</li> <li>● 申込：開催日の2週間前まで</li> <li>● 受講料：12,000円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6)  林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月26日(金)	作業計画の作成のための 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：26日 9:00~16:30</li> <li>● 申込：開催日の1週間前まで</li> <li>● 受講料：13,420円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6)  林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



**コラム** この数年、世の中のDXに関する動きは大きく変化しています。県においても様々なソフトの利用により事務の効率化が進んでいます。

今後、森林行政においてもAIの活用やRPA(ロボティックプロセスオートメーション・PC上の処理を自動化するソフト)の利用により事務効率化されることが予測されます。

デジタル化された事務プロセスは、書類作成や情報共有を迅速化し、公務員の負担を軽減します。これにより、現場の担当者はより多くの時間を現地の確認や事業体とのコミュニケーション、資源管理に費やすことができ、効率的かつ的確な判断ができるようになります。DXを使った事務効率化による森林行政の新たな展望は、持続可能な未来への道を明るく照らしています。(このコラムはChatGPTにより出力したものを校正し作成しています) 「森林のたより」編集委員 森林保全課 桂川 亮

イベント情報

1月1日発行

連載

- 山の歳時記(221)
- 山のおじゃまむし(390)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(132)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(130)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

1月号  
予定

## 木材市場

### 木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1836回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,500	—	→	
		4 m	16~18cm	14,000	—	→	
			20~22cm	14,500	—	→	
			24~28cm	14,500	—	→	
			30cm以上	12,700	20,800	→	
	6 m	16~18cm	—	—	→		
	11月1日	ひのき	3 m	16~18cm	20,500	—	→
			20cm以上	18,800	20,500	→	
		4 m	16~22cm	20,300	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
30cm以上			18,700	43,300	→		
6 m	16~18cm	—	—	→			
第1427回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,000	—	→	
		4 m	24~28cm	14,400	—	→	
			30cm以上	12,000	17,000	→	
	ひのき	3 m	16~18cm	18,000	—	→	
		4 m	20~22cm	17,000	—	→	
			24~28cm	18,000	—	→	
			30cm以上	19,000	70,000	→	
		6 m	16~20cm	25,000	—	→	
	11月1日	ひめこ	4 m	24~28cm	18,000	—	→
			30cm以上	20,000	30,500	↗	
5 m		30cm以上	—	—	→		
くり	4 m	24cm以上	15,000	43,500	↗		
第1760回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,000	—	↘	
		4 m	24~28cm	14,000	—	↘	
			30cm以上元	15,000	115,000	→	
	ひのき	3 m	16~22cm	19,500	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
			30cm以上元	25,000	64,000	→	
		4 m	13cm以下	10,000	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
	第11回 ぎふ優良材展	6 m	30cm以上元	25,000	632,000	→	
			18~22cm	29,500	—	→	
11月9日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	→	
		30cm以上元	11,000	—	→		

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

### 【商況】

スギ、ヒノキは全体的に横ばいで推移。スギ4m元木、尺上良材は買い気上向きだが、価格は保合で推移。スギラミナ向け3m・4m材は弱含み。ヒノキ元木、尺上良材3m・4m役物取りは引き合いは強いが価格は保合。ヒノキ3m・4mの構造材も価格は保合で推移。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキは横ばいで推移。ヒノキ良材、クリ、ホウ、ナラ、サクラは応札旺盛。ヒメコも引き続き好調。高値はヒノキ4m×38cm@70,000円、ミズ×2.2m×32cm×@31,000円、ナラ2.2m×38cm@47,700円、ブナ4.3m×52cm@34,300円、トチ4.4m×32cm@33,900円、クリ4.4m×34cm@43,500円、ホウ4.4m×28cm@29,000円(飛騨)

ヒノキ46cm以上の大径材は、5m・6m造材に入札集中。(出材予定の方は、一報ください。) 3m柱向け(14cm~24cm)は上向き気配。4m中目、土台向けも価格は保合ながら引き合いは強い。スギ中目、尺上、元木良材は、冬季在庫分も含め買い気上向き。価格は強保合で推移。3m・4m構造材向けは市中製品価格軟化の影響がぬぐいきれず保合弱含みで推移。合板向けは、製品荷動きが鈍く弱基調、原木受入調整は継続しているが、ヒノキについては、若干の動きがみられる。(東濃)

### 製品卸売標準価格 (10月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本枚)単価	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	75,000	( 2,481)	→
	間柱	3000	105	30	1等	75,000	( 709)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	80,000	( 3,528)	→
	柱	3000	120	120	特等	75,000	( 3,240)	→
W ウッド 集成材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	( 3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	98,000	( 4,200)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

### 外材市況 (10月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	432	↗
米楡	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

### ひわ 干割れ

乾燥、特に人工乾燥によって木材の水分が放散されて繊維組織が収縮し、部分的に収縮率が不均衡となって生じる割れ。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典